

特集 府中で暮らそう。

地方の人口減少と都市部への人口集中がますます進む中、逆に都市部から地方への流れを生み出す取り組みが全国で広まっています。大学進学や、就職の関係で地元から出て行った人が、地元に戻るUターン、縁もゆかりもないけれど、地方が気に入って住み始めるIターンなどさまざまです。府中市での取り組みを紹介します。

里山を楽しもう
「頼宗邸プロジェクト」
本山町では、築250年の古民家（通称『頼宗邸』）を活用して、地域住民を中心に移住者を呼び込む取り組みが行われています。メンバーの皆さんにこれまでの活動と今後の構想などを伺いました。



有永 頼宗邸の持ち主の桑田さん（横浜市在住）は、一か月に半月ほどこの家で過ごされます。一人で住ん

でおられたお母さんが亡くなられたのを機に、頼宗邸を使って何かできないか。その思いを帰ってこられたおりに、私たちと語っていただきました。

もともと本山町には、郷土史会という本山の歴史・文化を冊子に編纂する会があつて、その郷土史会と協力して、他地域で古民家をどう活用をしているかを実際に見て学びました。

武田 活用について、市役所に相談しにも行き、その後、広島県の移住・定住促進事業に認定されました。また、以前から市の教育委員会と協議を重ねていた国の有形文化財の登録の答申も出されました。

この頼宗邸の保存には、町内会、郷土史会、里山倶楽部と、頼宗邸がある地元地域がうまく連携を保つていかないとはいけません。一時の雰囲気にかまかせてやっってしまったのは続いていかないんです。今は、長く続いていくために、その下地作りをしている状態です。その手助けをして



築250年経過する頼宗邸

いるのが、アドバイザーの宮脇さんです。
宮脇 私は、県外の大学へ進学し、設計事務所などで働いたのち、3年前に府中市に帰ってきました。まちづくりの会社に勤めていたということもあり、市役所企画財政課からの紹介で、2年くらい前からこの活動に加わるようになりました。

地域の人がやってみたい事やできる事、まちの課題などをまとめたり、東京で移住に興味がある人へ本山町の取り組みを紹介したり、ワークショップを行って

また、府中でお店を始めるにあたってこんな工夫があつたなどを掲載した「こつこつ府中でお店を始めよう」を発行し、頼宗邸での起業のきっかけづくりの取り組みも行いました。現在、頼宗邸で何かやってみたいというプレイヤーとなつてくれる人を全国から探しています。

有永 宮脇さんとも相談して、どういう具合に活用していくかを時間を掛けて、じっくりと検討しないといけないと思つています。桑田さんも、その点を心配しています。どんな人でも、

来てくれればいいと言え、すぐ決まるとは思いますが、1年あまりで出て行ったりすることは県内でもよくあるし、そうなるってほしくないという思いは、桑田さんも地域も同じです。

昔の話になつてしまいましたが、頼宗邸は、テレビがあることが珍しい時代には、地域の人や子どもたちが集まって、プロレスや相撲などを見ていて、いわゆる地域の広場になつていました。また、本山町には、指定文化財がたくさん存在し、その中に青目寺があります。平成31年4月には、17年に1度の青目寺の開帳を町内



市が主導で行ったスタディツアーで、頼宗邸を訪れ、地域の人と交流をする参加者

を上げて行う準備をしているところ。昔からお祭りや町内行事に協力したり集まつたりする体制ができていたのかもしれない。また、里山倶楽部の活動もそれに当てはまると思えます。里山倶楽部は、参加者が60人以上いて、本山の里山が荒れないように、草刈りや伸びてしまった木を切つたりしています。その伐採した木を頼宗邸の裏庭に作つた窯で、木炭にしています。

食べたりとか、燃料も自分たちで作つたものを使う。そうすることで、人が集まりにぎやかさが生まれるので、一つの活用案ではありますね。
宮脇 今まで、京都や長崎、広島などで地域活動に関わってきましたが、ここ本山町も地元を盛り上げようとする活動が活発で、言葉で表現するのは難しいですが、大きな愛が感じられるなとたびたび思います。皆さんが自分たちの住む町に誇りを持ちながら、自分たちの町を思いっきり楽しんでいられるなあと。

だから、頼宗邸のプレイヤーを選ぶのは大変なことだと思ふんです。地域との関係や、所有者の桑田さんの想いもあります。ただ私にできることは、全力で皆さんをサポートすることだと思つています。
武田 来てくれた人が一人



有永さん（左）武田さん（中央）宮脇さん（右）



縁側に座る桑田さん

持ち主の桑田さんは、「この頼宗邸が地元の人役に立ってくれるのが一番です。県外からでも、移住者が来てくれて、人が集まる場所になつてくれればいいなと思ふ。これをやろうという目的がある人が来てくれたらいいけど。アドバイザーの宮脇さんともそう話しているんですよ。」と話してくださいました。